

全蓄熱による厨房のスポット空調

この薬品製造工場の社員食堂では、調理品の衛生面ならびに厨房従事者の夏季作業環境改善を目的に、作業頻度の高い箇所にスポット冷房（外気導入型）を施すこととしました。

厨房は、昼間の短時間（10時～14時）に大きな冷房負荷が発生します。そこで、設備選定にあたっては、最大電力やランニングコストの抑制を図るため、氷蓄熱システム（全量蓄熱利用）を採用しました。

改善効果

産業用蓄熱調整契約の適用により、非蓄熱システムに比べて電気料金が85%低減できました。

「蓄熱調整割引額 約36万円/年」

設備概要

- 空冷ブラインチラー
ブラインポンプ 13.8 kW
1.0 kW
- 氷蓄熱槽 3.2 m³
- 空調面積 182 m²

〈システム図〉

